

第1期末（2023年12月11日）

基準価額	10,470円
純資産総額	142億円
騰落率	4.7%
分配金	0円

ニッセイ／シュロージャー 好利回りCBファンド 2022-12 (為替ヘッジあり・限定追加型)

追加型投信／内外／その他資産（転換社債）

運用報告書（全体版）

作成対象期間：2022年12月9日～2023年12月11日

第1期（決算日 2023年12月11日）

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY
ASSET MANAGEMENT

東京都千代田区丸の内1-6-6

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ／シュロージャー好利回りCBファンド2022-12（為替ヘッジあり・限定追加型）」は、このたび第1期の決算を行いました。

当ファンドは、「シュロージャー先進国好利回りCBファンド2022-12（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、日本を含む世界のCB（転換社債）を実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

2022年12月9日～2023年12月11日

基準価額等の推移



設定時	10,000円	既払分配金	0円
第1期末	10,470円	騰落率(分配金再投資ベース)	4.7%

- (注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・2023年1月上旬から2月上旬にかけて、米国のインフレ鈍化や懸念されていたほど悪化していない景気動向等の好材料が相次ぎ、世界株式市場の上昇に追随してCB市場も上昇したこと
- ・6月初旬から7月初旬にかけて、米債務上限問題の回避や米連邦準備制度理事会（FRB）が利上げを見送るとの見方が強まったことなどを受けて、世界株式市場の上昇に追随してCB市場も上昇したこと

<下落要因>

- ・2023年3月初旬から中旬にかけて、米地銀の経営破綻に端を発した金融機関への信用不安の高まりなどから世界株式市場が下落しCB市場も下押し圧力が生じたこと
- ・10月下旬に金融引き締め長期化や地政学リスクの高まり、一部企業の業績発表等が嫌気され世界株式市場が下落しCB市場も下押し圧力が強まったこと

1万口当たりの費用明細

項目	第1期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	66円	0.643%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は10,338円です。
(投信会社)	(29)	(0.277)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(34)	(0.333)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(3)	(0.033)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	0	0.003	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.003)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.000)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	67	0.646	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

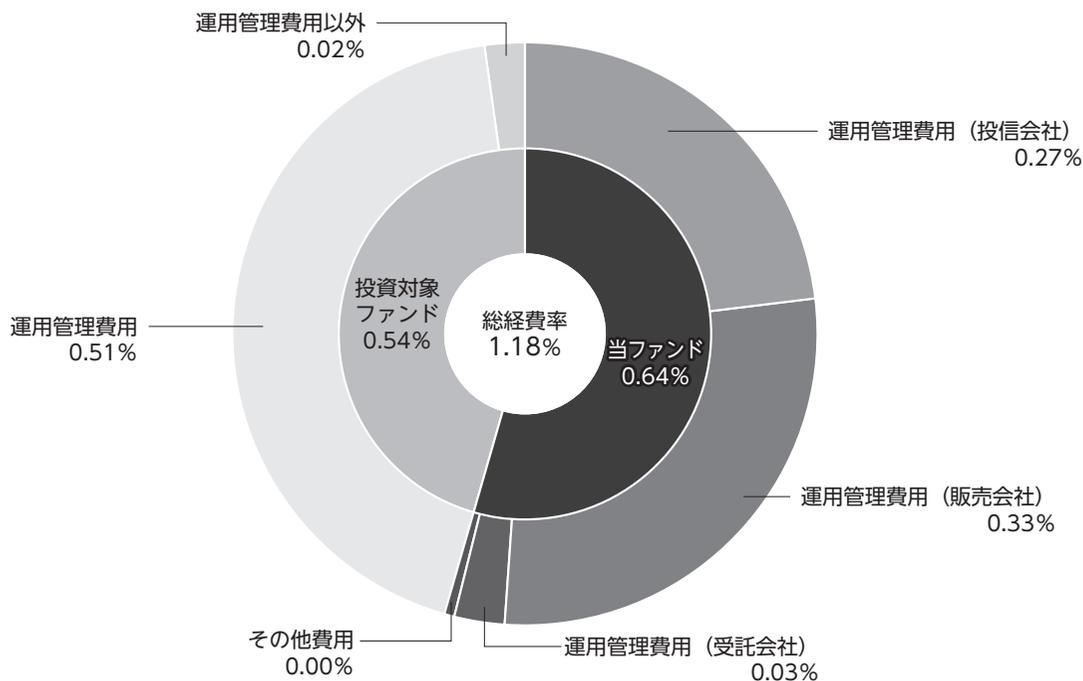
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては、投資信託証券の概要に表示しています。

（参考情報）

■総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.18%**です。



総経費率（①+②+③）	1.18%
①当ファンドの費用の比率	0.64%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.51%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

グローバルCB市況

当期のグローバルCB市場は期を通じて見ると上昇しました。

期初は軟調な推移となりましたが、2023年1月上旬から2月上旬にかけては米国のインフレ鈍化や懸念されていたほど悪化していない景気動向等の好材料が相次ぎ、世界株式市場の上昇に追隨してCB市場も上昇しました。3月初旬から中旬にかけては、米地銀の経営破綻に端を発した金融機関への信用不安の高まりなどから世界株式市場が下落しCB市場も下押し圧力が生じました。その後、信用不安に対する当局の迅速な対応や主要グローバル企業の良好な業績動向などから世界株式市場は上昇しましたが、CB市場は追隨力をやや欠いた動きとなりました。6月初旬から7月初旬にかけては米債務上限問題の回避やFRBが利上げを見送るとの見方が強まったことなどを受けて、世界株式市場の上昇に追隨してCB市場も上昇しました。8月に入ると中国の景気減速や不動産問題の深刻化、米長期金利の上昇等が嫌気され軟調な展開となり、9月以降は米金融引き締め長期化や地政学リスクの高まり、一部企業の業績発表等が嫌気され世界株式市場が下落しCB市場も下押し圧力が強まりました。当期末にかけては米利上げ打ち止め観測の高まりによる米長期金利の低下等により世界株式市場の上昇に追隨してCB市場も上昇しました。

ポートフォリオ

■当ファンド

「シュローダー先進国好利回りCBファンド2022-12（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

■シュローダー先進国好利回りCBファンド2022-12（適格機関投資家専用）

*シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の資料（現地における当期末基準）に基づき、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

主に日本を含む世界のCBに投資を行いました。なお、組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りました。

<業種配分>

当期末時点では、組入比率の高い順に不動産（17.9%）、一般消費財・サービス（17.2%）、情報技術（11.6%）としています。

<国・地域別配分>

当期末時点では、組入比率の高い順にアメリカ（46.2%）、イギリス（9.1%）、ドイツ（8.1%）としています。

<通貨別配分>

当期末時点では、組入比率の高い順に米ドル（53.8%）、ユーロ（24.7%）、イギリス・ポンド（14.1%）としています。

（注1）比率はすべて対組入債券評価額比です。

（注2）業種はGICS（世界産業分類基準）による分類ですが、GICS分類が不明な場合はブルームバーグ業種分類（BICSレベル1）を基に分類しています。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

（注3）国・地域はシュロージャー・インベストメント・マネジメント株式会社の分類（設立地・登記国基準）によるものです。

■ニッセイマネースtockマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことからベンチマークなどを設けていません。

分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期	
	2022年12月9日～2023年12月11日	
当期分配金（税引前）	-	
対基準価額比率	-	
当期の収益	-	
当期の収益以外	-	
翌期繰越分配対象額	492円	

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

「シュロージャー先進国好利回りCBファンド2022-12（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。

■シュロージャー先進国好利回りCBファンド2022-12（適格機関投資家専用）

銀行の貸し出し態度が厳格化しており、高い金利水準による景気への下押し圧力が強い環境は継続しています。企業の経営活動が保守的になる状況は続いており、引き続き金融市場の不安心理が大きくなりやすいことから、注意が必要であると判断しています。また、景気後退への懸念や各国中央銀行の金融政策の変化などから、金融市場のボラティリティ（価格変動性）は今後も高まるとみています。

当ファンドは、原則としてファンドの信託期間内に償還日を迎えるCBに投資し、償還日まで保有することを基本としています。発行体の信用リスク、流動性などを勘案し、相対的に利回りが高いと判断される銘柄を中心に投資を継続する方針です。

引き続き、主に日本を含む世界のCBに投資を行います。なお、組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。

■ニッセイマネースtockマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

■組入ファンド

	第1期末 2023年12月11日
シュロージャー先進国 好利回りCBファンド2022-12 (適格機関投資家専用)	99.7%
ニッセイマネーストック マザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

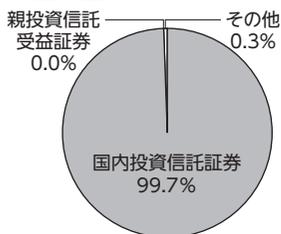
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

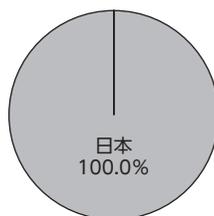
項目	第1期末 2023年12月11日
純資産総額	14,221,633,821円
受益権総口数	13,583,181,921口
1万口当たり基準価額	10,470円

(注) 当期間中における追加設定元本額は7,949,440,784円、同解約元本額は2,166,005,617円です。

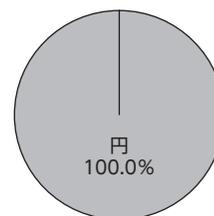
■資産別配分



■国別配分



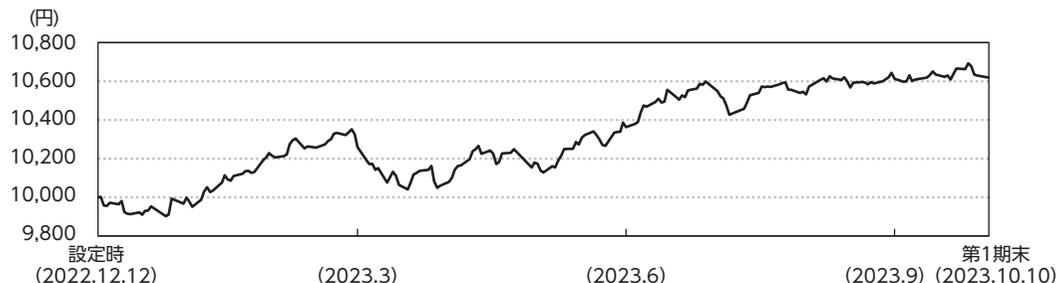
■通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2023年12月11日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

シュローダー先進国好利回りCBファンド2022-12（適格機関投資家専用）の概要

■ 税引前分配金再投資基準価額の推移



■ 上位銘柄

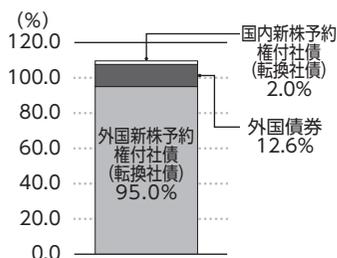
銘柄名	通貨	比率
US 0.625% 30/11/27	米ドル	12.6%
ABU DHABI OIL 0.7% CB	米ドル	5.9
TAG IMMOBILIEN 0.625% CB	ユーロ	5.7
CAPITAL&COUNTIES 2% CB	イギリス・ポンド	4.3
PROSPECT CAP 6.375% CB	米ドル	4.0
OCADO GROUP PLC 0.75%	イギリス・ポンド	3.6
DERWENT LONDON 1.5% CB	イギリス・ポンド	3.5
AMS-OSRAM AG 0% CB	ユーロ	3.4
GLANBIA CO 1.875% CB	ユーロ	2.7
SPOTIFY USA INC 0% CB	米ドル	2.5
組入銘柄数		70

■ 1万口当たりの費用明細

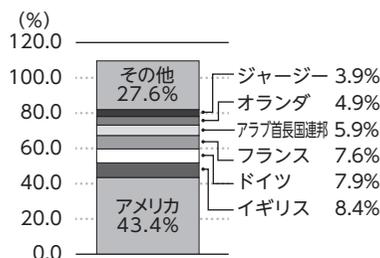
2022.12.12～2023.10.10

項目	金額
信託報酬	45円
(投信会社)	(43)
(販売会社)	(0)
(受託会社)	(2)
その他費用	2
(保管費用)	(1)
(監査費用)	(1)
(印刷費用)	(0)
(その他)	(0)
合計	47

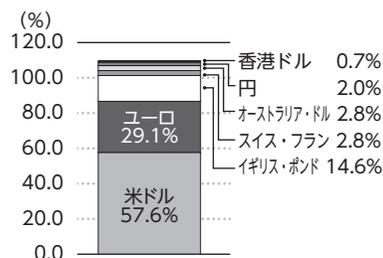
■ 資産別配分



■ 国別配分



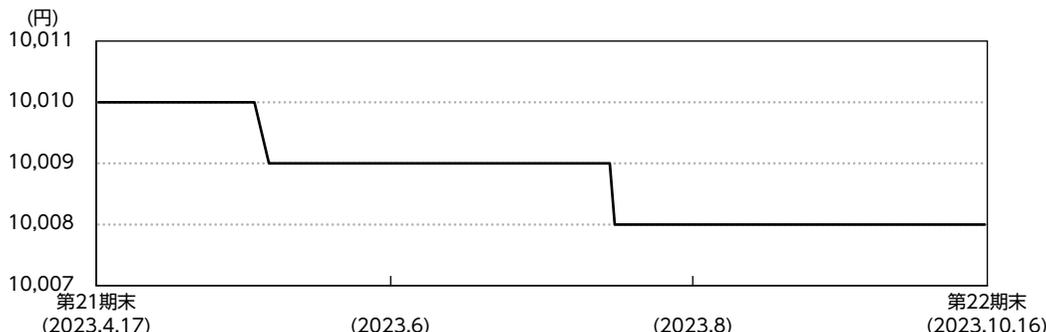
■ 通貨別配分



- (注1) 税引前分配金再投資基準価額の推移は、投資信託証券の直近の決算期のものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。
- (注2) 1万口当たりの費用明細は、投資信託証券の直近の決算期のものであり、費用項目の概要については運用報告書（全体版）の1万口当たりの費用明細をご参照ください。
- (注3) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、投資信託証券決算日（2023年10月10日現在）のものであり、比率は投資信託証券の純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分については発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しています。
- (注4) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入資産の明細をご参照ください。

ニッセイマネースtockマザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



■ 上位銘柄

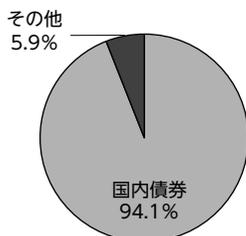
銘柄名	通貨	比率
第1121回 国庫短期証券	円	28.0%
第132回 共同発行市場公募地方債	円	22.0
令和元年度第1回 長崎県公募公債	円	22.0
平成25年度第11回 埼玉県公募公債	円	12.0
第727回 東京都公募公債	円	10.0
組入銘柄数		5

■ 1万口当たりの費用明細

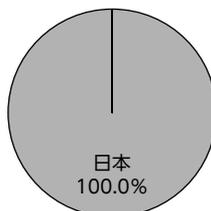
2023.4.18～2023.10.16

項目	金額
その他費用	0円
(その他)	(0)
合計	0

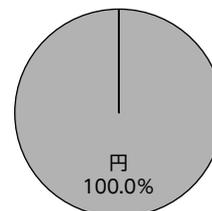
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2023年10月16日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入有価証券明細表をご参照ください。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	シュロージャー先進国 好利回りCB ファンド2022-12 (適格機関投資家専用)	債券 組入比率	純資産 総額
(設定日) 2022年12月9日	円 10,000	円 -	% -	円 10,000	% -	% -	百万円 7,799
1期(2023年12月11日)	10,470	0	4.7	10,470	99.7	0.0	14,221

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。以下同じです。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	シュロージャー先進国 好利回りCB ファンド2022-12 (適格機関投資家専用)	債券 組入比率
(設定日)2022年12月9日	円 10,000	% -	% -	% -
12月末	9,956	△0.4	83.3	0.0
2023年1月末	10,138	1.4	98.6	0.0
2月末	10,287	2.9	98.9	0.0
3月末	10,129	1.3	98.8	0.0
4月末	10,214	2.1	99.0	0.0
5月末	10,280	2.8	98.9	0.0
6月末	10,524	5.2	98.6	0.0
7月末	10,548	5.5	98.6	0.0
8月末	10,554	5.5	98.9	0.0
9月末	10,618	6.2	99.0	0.0
10月末	10,465	4.7	98.8	0.0
11月末	10,505	5.1	99.9	0.0
(期末)2023年12月11日	10,470	4.7	99.7	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は設定日比です。

売買および取引の状況

2022年12月9日～2023年12月11日

(1) 投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
シュロージャー先進国好利回りCBファンド 2022-12（適格機関投資家専用）	15,623,676	15,573,880	2,154,129	2,257,590

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイマネースtockマザーファンド	9	10	-	-

利害関係人との取引状況等

2022年12月9日～2023年12月11日

当期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2023年12月11日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	当期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
シュロージャー先進国好利回りCBファンド 2022-12（適格機関投資家専用）	13,469,547	14,183,433	99.7
合計	13,469,547	14,183,433	99.7

(注1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	当期末	
	口数	評価額
	千口	千円
ニッセイマネースtockマザーファンド	9	9

(注) 当期末におけるニッセイマネースtockマザーファンド全体の口数は49,992千口です。

投資信託財産の構成

2023年12月11日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
シュロダー先進国好利回りCBファンド 2022-12（適格機関投資家専用）	14,183,433	99.0
ニッセイマネーストックマザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	136,327	1.0
投資信託財産総額	14,319,770	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年12月11日現在)

項目	当期末
(A) 資産	14,319,770,381円
コール・ローン等	136,327,088
シュロダー先進国好利回り CBファンド2022-12 (適格機関投資家専用) (評価額)	14,183,433,297
ニッセイマネーストック マザーファンド (評価額)	9,996
(B) 負債	98,136,560
未払解約金	48,250,964
未払信託報酬	49,653,123
その他未払費用	232,473
(C) 純資産総額(A-B)	14,221,633,821
元本	13,583,181,921
次期繰越損益金	638,451,900
(D) 受益権総口数	13,583,181,921口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,470円

(注) 設定元本額 7,799,746,754円
 期中追加設定元本額 7,949,440,784円
 期中一部解約元本額 2,166,005,617円

損益の状況

当期 (2022年12月9日～2023年12月11日)

項目	当期
(A) 配当等収益	△ 142,022円
受取利息	22,211
支払利息	△ 164,233
(B) 有価証券売買損益	767,974,820
売買益	867,206,119
売買損	△ 99,231,299
(C) 信託報酬等	△ 98,437,135
(D) 当期損益金(A+B+C)	669,395,663
(E) 追加信託差損益金*	△ 30,943,763
(配当等相当額)	(△ 13,300)
(売買損益相当額)	(△ 30,930,463)
(F) 合計(D+E)	638,451,900
次期繰越損益金(F)	638,451,900
追加信託差損益金	△ 30,943,763
(配当等相当額)	(△ 13,300)
(売買損益相当額)	(△ 30,930,463)
分配準備積立金	669,537,685
繰越欠損金	△ 142,022

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。設定時の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	669,537,685円
(c) 信託約款に定める収益調整金	0円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	0円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	669,537,685円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	492.92円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円

お知らせ

■自社の実質保有比率

2023年11月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイマネースtockマザーファンドの信託財産において、当社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に99.9%保有しています。当該実質保有分は、当社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／その他資産（転換社債）	
信 託 期 間	2022年12月9日～2027年12月10日	
運 用 方 針	投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界のCB（転換社債）を実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。	
主要運用対象	ニッセイ／シュローダー好利回りCBファンド2022-12（為替ヘッジあり・限定追加型）	「シュローダー先進国好利回りCBファンド2022-12（適格機関投資家専用）」および「ニッセイマネースtockマザーファンド」
	シュローダー先進国好利回りCBファンド2022-12（適格機関投資家専用）	日本を含む世界のCB（転換社債）
	ニッセイマネースtockマザーファンド	円建ての短期公社債および短期金融商品
運 用 方 法	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。 ・株式への直接投資は行いません。 	
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。	

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産(転換社債)
信託期間	2022年12月12日から2027年12月9日まで
運用方針	信託財産の成長とインカム収益の確保をめざして運用を行います。
主要投資対象	先進国(IMF(国際通貨基金)が定義する先進国・地域の全部または一部、その他運用委託先がこれに準ずると判断する国・地域)の転換社債を主な投資対象とします。先進国国債や残存期間の短い債券ならびに短期金融商品等に投資する場合があります。
組入制限	・株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	年1回の毎決算時(毎年10月10日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日)に原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収益と売買益(評価益を含みます。)等から、基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。なお、信託財産の成長を優先させ、収益分配を行わない場合があります。

シュロダー先進国好利回り CBファンド2022-12 (適格機関投資家専用)

第1期 運用報告書(全体版)

(決算日 2023年10月10日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「シュロダー先進国好利回りCBファンド2022-12(適格機関投資家専用)」は、2023年10月10日に第1期の決算を行いました。

ここに、謹んで期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

シュロダー・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-3
丸の内トラストタワー本館21階
<http://www.schroders.co.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

- ・投資信託営業部 電話番号 03-5293-1323
- ・受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日は除く)

Schroders
シュロダー・インベストメント・マネジメント

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	債券 組入比率	債券 先物比率	純資産額
		税込み 分配金	騰落 率	中 率				
(設定日)	円	円	%	%	%	%	百万円	
2022年12月12日	10,000	—	—	—	—	—	7,682	
1期(2023年10月10日)	10,619	0	6.2	97.0	12.6	—	14,947	

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
 (注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。
 (注) 基準価額、税込み分配金は1万口当たり。
 (注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	標準価額		新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	債券 組入比率	債券 先物比率	純資産額
		騰落率	騰落率				
(設定日)	円	%	%	%	%	%	%
2022年12月12日	10,000	—	—	—	—	—	—
12月末	9,953	△0.5	79.7	2.6	—	—	—
2023年1月末	10,135	1.4	93.5	5.1	—	—	—
2月末	10,291	2.9	94.5	5.1	—	—	—
3月末	10,137	1.4	95.0	5.3	—	—	—
4月末	10,227	2.3	95.9	5.3	—	—	—
5月末	10,300	3.0	97.9	5.5	—	—	—
6月末	10,553	5.5	97.5	8.3	—	—	—
7月末	10,584	5.8	96.7	8.9	—	—	—
8月末	10,596	6.0	97.7	11.8	—	—	—
9月末	10,666	6.7	96.9	12.4	—	—	—
(期末)							
2023年10月10日	10,619	6.2	97.0	12.6	—	—	—

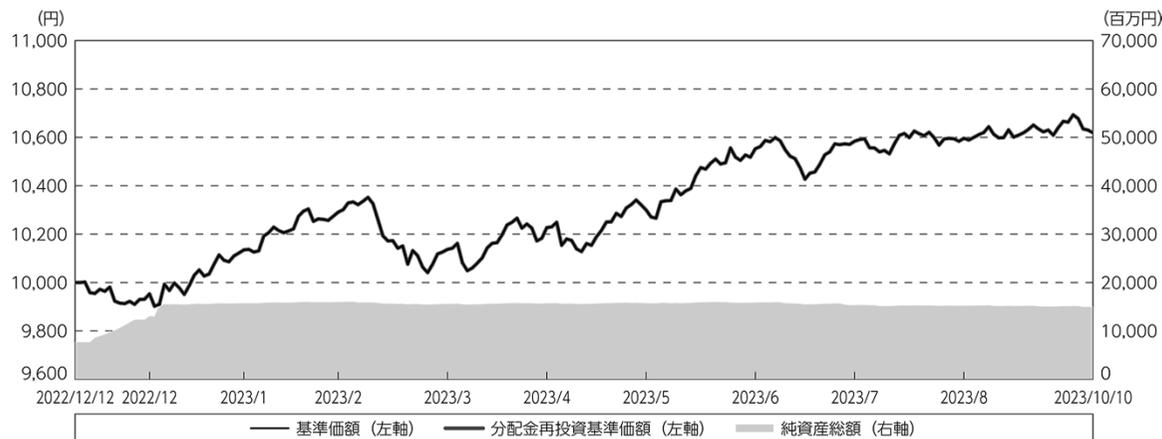
(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
 (注) 基準価額は1万口当たり。
 (注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

（2022年12月12日～2023年10月10日）

期中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

期末：10,619円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 6.2%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- （注）当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

設定日10,000円でスタートした基準価額は、10,619円（分配後）で期末を迎え、設定日比6.2%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

当期、CB市場は上昇しました。株式市場の下落局面において、株式市場に対する下値抵抗力を欠いた局面もありましたが、株式市場の上昇局面において、CB市場は概ね株式市場に対する追随力を発揮し、期を通しでは堅調な動きとなりました。

投資環境

期初、2022年12月のグローバルの株式市場は軟調な推移となりました。米連邦公開市場委員会（FOMC）においてパウエル議長が改めてタカ派姿勢を示し、利上げが継続するとの観測に嫌気し下落しました。2023年に入るとインフレ率や金利の低下が見られ、景気後退を回避するソフトランディング（軟着陸）という見方が広がり上昇となりましたが、2月には楽観的な見方が弱まり再び下落しました。その後、米国のシリコンバレー銀行の破綻やクレディ・スイスのUBSによる買収を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったものの、金融当局の迅速な対応により、金融システムへの懸念が和らぎ上昇に転じました。5月以降は人工知能（AI）の話題が大きく後押し材料となり、大手ハイテク株を中心に上昇基調となりました。8月以降、米国経済のソフトランディングと金利が低下するとのシナリオに対する疑問が再び高まり、米国のみならず、欧州、アジアなどグローバルの株式市場は下落基調となりましたが、期を通しては上昇となりました。同期間におけるCB市場は、ヘルスケア、公益セクターが軟調となった一方、一般消費財・サービス、素材、インフォメーションテクノロジーセクターが堅調な動きとなり、上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

当期、ポートフォリオでは、原資産の株式に対する感応度が低いCBへの投資および満期保有を基本戦略としつつ、CB市場の非効率性を捉え、割安な銘柄に対する投資を実施しました。セクター別では、一般消費財・サービス、金融の組入比率を高位としています。国別では、米国、英国、ドイツ、フランスを高位としています。また、格付け別ではBBB格、BBB格のCBを中心に保有しています。

（格付はS&P、フィッチ・レーティングス、ムーディーズのうち上位の格付を採用し、格付が取得できない銘柄についてはシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の内部格付けを使用しております。ポートフォリオ全体の格付け（平均格付）については、それらの情報を基に組入銘柄にかかる格付を加重平均したものであり、当該ポートフォリオ自体の信用格付ではありません。以下、同じです。）

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、当期の収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第 1 期
	2022年12月12日～ 2023年10月10日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	655

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入で算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

2022年より1980年代初頭以来の急ピッチな金利上昇サイクルを経験してきました。経済は好調を維持し、労働市場も堅調な推移となり、米国の消費者は支出を続けました。しかしながら、米国ではクレジット・カード等の延滞率の上昇等、景気が減速する兆候が見られ、ようやく米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げサイクルは落ち着くとの見方が高まっています。それでも経済成長が深刻に悪化しない限り、短期的に金利が低下する可能性は極めて低く、今後も高金利は続くと考えます。金利の上昇は消費者、企業、政府のコスト構造をゆっくりと侵食しつつあります。銀行は融資基準を厳格化し、金利を引き上げています。ハイイールド債券市場は金融危機以降、5倍に拡大しましたが、今後、多くの借換えが控えており、その借換えはさらに高い金利水準で行われ、信用条件もかなり厳しくなっています。債券投資において注意すべきは満期日であり、厳格な借換え条件のもと、金利コストの上昇、流動性の低下が見られている環境においてデフォルトリスクは高まります。欧州においても流動性の低下が見られています。このような中において、CBは流動性のない局面においても常に開かれた市場であり、今後CBにとって好機が到来すると予想されます。また、CBは景気後退局面における株式の下落に対する防御性を示すことが要求されます。運用チームは長期的な株式市場見通しに関しては、引き続き警戒しており、今後さらにボラティリティ（変動性）が高まるとみています。この様な中、全天候型商品といえるCBにはより防御的な資産クラスとしての投資妙味があり、依然売られ過ぎの状況にあると考えます。最近、大手IT企業による社債の発行が急増しており、特に長期債の取引が活発となっていますが、これらの企業においてCBの発行は行われておらずCBのユニバースに影響を及ぼす可能性は軽微といえます。今後もグローバルの経済動向を見極めつつ、保有銘柄の信用リスク状況を注視したポートフォリオ運営を継続します。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2022年12月12日～2023年10月10日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	45	0.434	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(43)	(0.411)	・ファンドの運用判断、受託会社への指図 ・基準価額の算出ならびに公表
（ 販 売 会 社 ）	(0)	(0.001)	・運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等 ・運用報告書等各種書類の交付
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.022)	・口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等 ・ファンドの財産保管・管理 ・委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	2	0.021	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.006)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.013)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(0)	(0.001)	・印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	・その他は、グローバルな取引主体識別子（LEI：Legal Entity Identifier）登録費用、金銭信託手数料、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合 計	47	0.455	
期中の平均基準価額は、10,344円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（投資証券等を含む）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2022年12月12日～2023年10月10日）

新株予約権付社債（転換社債）

		買 付		売 付	
		額	金 額	額	金 額
国内		千円	千円	千円	千円
		330,000	261,850	—	—
外	アメリカ	千米ドル	千米ドル	千米ドル	千米ドル
		60,100	50,855	8,500 (—)	7,529 (0.458)
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	9,400	7,350	600	519
	イタリア	600	514	—	—
	フランス	6,833	5,773	309	264
	オランダ	3,000	2,579	200	181
	スペイン	2,500	2,263	500	462
	オーストリア	5,000	3,909	1,400	1,221
	アイルランド	2,500	2,207	—	—
その他	8,500	7,265	4,300	4,439	
国	イギリス	千英ポンド	千英ポンド	千英ポンド	千英ポンド
		15,500	12,302	1,200	932
	スイス	千スイスフラン	千スイスフラン	千スイスフラン	千スイスフラン
		3,200	2,743	400	354
	オーストラリア	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル
	5,000	4,616	600	558	
香港	千香港ドル	千香港ドル	千香港ドル	千香港ドル	
	6,000	5,702	—	—	

(注) 金額は約定代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(注) ()内は予約権行使・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

公社債

			買 付 額	売 付 額
外国	アメリカ	国債証券	千米ドル 12,764	千米ドル —

(注) 金額は約定代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2022年12月12日～2023年10月10日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年10月10日現在)

国内新株予約権付社債（転換社債）

銘柄	柄	当 期 末	
		額 面 金 額	評 価 額
MERCARI INC 0%	26/07/14	千円 250,000	千円 220,375
PARK24 0%	25/10/29	80,000	75,887
合 計	額 面 金 額	330,000	296,262
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	< 2.0% >

(注) 評価額欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 単位未満は切捨て。

外国新株予約権付社債（転換社債）

銘柄	柄	当 期 末		
		額 面 金 額	評 価 額	
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額
(アメリカ)		千米ドル	千米ドル	千円
TELADOC HEALTH INC 1.25%		2,750	2,158	320,749
LYFT INC 1.5% CB		750	693	103,035
CHEGG INC CONV 0% CB		750	585	87,075
SEA LTD 0.25% CB		1,750	1,397	207,649
RINGCENTRAL INC 0% CB		750	633	94,175
SOFI TECHNOLOGIES 0% CB		2,000	1,558	231,518
FIVERR INTER 0% CB		500	433	64,484
BLOCK INC 0% CB		875	728	108,245
BLOCK INC 0.25% CB		875	657	97,762
SUNRUN INC 0% CB		1,700	1,215	180,623
SPOTIFY USA INC 0% CB		3,000	2,556	379,877
AIRBNB INC 0% CB		1,650	1,442	214,296
CABLE ONE INC 0% CB		900	735	109,265
JETBLUE AIRWAYS 0.5% CB		1,000	771	114,615
BLACKSTONE MTG 5.5% CB		1,400	1,246	185,155
LIVONGO HEALTH 0.875%CB		500	458	68,170
SNAP INC 0% CB		1,250	929	138,105
TRIPADVISOR 0.25% CB		1,750	1,485	220,782
ABU DHABI OIL 0.7% CB		6,200	5,984	889,234
DIGITALOCEAN 0% CB		1,000	764	113,589
UNITY SOFTWARE 0% CB		750	592	87,989

シュロダー先進国好利回りＣＢファンド2022-12（適格機関投資家専用）

銘柄	当 期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	千米ドル	千米ドル	千円
APOLLO COML 5.375% CB	1,000	1,002	148,970
MAGNITE INC 0.25% CB	900	782	116,313
UNITI FIBER HLDGS 4% CB	750	726	107,936
TECHTARGET INC 0% CB	750	608	90,459
NCL CORP 2.5% CB	750	645	95,847
CIE GENERALE 0% CB	1,600	1,592	236,687
WESTERN DIGITAL 1.5% CB	1,750	1,729	256,955
Liberty Media 2.75% CB	750	683	101,618
BW OFFSHORE 2.5% CB	1,800	1,690	251,177
PROSPECT CAP 6.375% CB	4,000	4,002	594,826
SHOPIFY INC 0.125% CB	1,800	1,606	238,725
XERO INVESTMENTS 0% CB	1,750	1,538	228,657
REPAY HOLDINGS 0% CB	750	609	90,584
PEGASYSTEMS INC 0.75% CB	650	595	88,476
NUVASIVE INC 0.375% CB	500	462	68,653
小 計	額 面 金 額	45,304	6,732,292
	銘柄 数 < 比 率 >	—	<45.0%>
(ユーロ・・・ドイツ)	千ユーロ	千ユーロ	千円
EVONIK INDUSTRIES 0% CB	400	383	60,209
LEG IMMOBILIEN 0.875%CB	400	369	58,082
HELLOFRESH SE 0.75% CB	600	556	87,506
ZALANDO SE 0.625% CB	900	746	117,329
TAG IMMOBILIEN 0.625% CB	6,500	5,423	852,333
小 計	額 面 金 額	7,479	1,175,461
	銘柄 数 < 比 率 >	—	<7.9%>
(ユーロ・・・イタリア)	千ユーロ	千ユーロ	千円
NEXI SPA CONV 1.75% CB	600	519	81,566
小 計	額 面 金 額	519	81,566
	銘柄 数 < 比 率 >	—	<0.5%>
(ユーロ・・・フランス)	千ユーロ	千ユーロ	千円
Nexity SA 0.25% CB	674	584	91,860
AIR FRANCE 0.125% CB	1,075	1,052	165,348
WORLDLINE FRANCE 0% CB	1,032	900	141,549
UBISOFT ENTER 0% CB	2,063	1,967	309,247
CLARIANE SE 0.875% CB	1,353	936	147,180
FNAC DARTY 0.25% CB	324	269	42,278
小 計	額 面 金 額	5,710	897,464
	銘柄 数 < 比 率 >	—	<6.0%>

シュロダー先進国好利回りCBファンド2022-12（適格機関投資家専用）

銘柄		当 期 末					
		額 面 金 額	評 価 額				
			外貨建金額	邦貨換算金額			
(ユーロ・・・オランダ)		千ユーロ	千ユーロ	千円			
BASIC-FIT 1.5% CB		700	613	96,374			
JUST EAT TAKE 1.25% CB		1,000	854	134,261			
COSMO PHARMA 2.5% CB		1,100	1,093	171,795			
小	計	額 面 ・ 金 額	2,800	2,560	402,431		
		銘 柄 数 < 比 率 >	3	—	<2.7%>		
(ユーロ・・・スペイン)		千ユーロ	千ユーロ	千円			
CRITERIA CAIXA 0% CB		2,000	1,868	293,653			
小	計	額 面 ・ 金 額	2,000	1,868	293,653		
		銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<2.0%>		
(ユーロ・・・オーストリア)		千ユーロ	千ユーロ	千円			
AMS-OSRAM AG 0% CB		3,600	3,195	502,181			
小	計	額 面 ・ 金 額	3,600	3,195	502,181		
		銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<3.4%>		
(ユーロ・・・アイルランド)		千ユーロ	千ユーロ	千円			
GLANBIA CO 1.875% CB		2,500	2,527	397,182			
小	計	額 面 ・ 金 額	2,500	2,527	397,182		
		銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<2.7%>		
(ユーロ・・・その他)		千ユーロ	千ユーロ	千円			
GN STORE NORD 0% CB		2,200	2,130	334,853			
DELIVERY HERO 1.0% CB		2,000	1,680	264,034			
小	計	額 面 ・ 金 額	4,200	3,810	598,888		
		銘 柄 数 < 比 率 >	2	—	<4.0%>		
ユ	ー	ロ	計	額 面 ・ 金 額	31,023	27,671	4,348,829
				銘 柄 数 < 比 率 >	20	—	<29.1%>
(イギリス)		千英ポンド	千英ポンド	千円			
CAPITAL&COUNTIES 2% CB		4,000	3,505	638,161			
PHP FINANCE 2.875% CB		400	368	67,038			
TRAINLINE PLC 1.0% CB		500	428	77,984			
DERWENT LONDON 1.5% CB		3,100	2,855	519,840			
OCADO GROUP PLC 0.75%		4,000	2,934	534,108			
IWG GROUP HOLD 0.5% CB		2,300	1,894	344,849			
小	計	額 面 ・ 金 額	14,300	11,987	2,181,982		
		銘 柄 数 < 比 率 >	6	—	<14.6%>		
(スイス)		千スイスフラン	千スイスフラン	千円			
DUFY ONE 0.75% CB		2,200	1,999	328,110			

シュロダー先進国好利回りCBファンド2022-12（適格機関投資家専用）

銘柄		当 期 末		
		額 面 金 額	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(スイス) CEMBRA MONEY BANK 0% CB	千スイスフラン	千スイスフラン	千円	
	600	557	91,537	
小 計	額 面 金 額	2,800	2,556	419,647
	銘柄数 < 比率 >	2	—	<2.8%>
(オーストラリア) FLIGHT CENTRE 1.625% CB DEXUS Finance 2.3% CB	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	
	400	369	35,272	
	4,000	3,940	375,992	
小 計	額 面 金 額	4,400	4,310	411,265
	銘柄数 < 比率 >	2	—	<2.8%>
(香港) LINK 2019 1.6% CB	千香港ドル	千香港ドル	千円	
	6,000	5,835	110,748	
小 計	額 面 金 額	6,000	5,835	110,748
	銘柄数 < 比率 >	1	—	<0.7%>
合 計	額 面 金 額	—	—	14,204,766
	銘柄数 < 比率 >	67	—	<95.0%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) < >内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	14,850	12,627	1,876,393	12.6	—	—	12.6	—
合 計	—	—	1,876,393	12.6	—	—	12.6	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	柄	当 期 末				
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円	
	国債証券 US 0.625% 30/11/27	0.625	14,850	12,627	1,876,393	2027/11/30
合 計					1,876,393	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年10月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
新株予約権付社債(転換社債)	14,501,028	86.9
公社債	1,876,393	11.3
コール・ローン等、その他	300,058	1.8
投資信託財産総額	16,677,479	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(16,125,874千円)の投資信託財産総額(16,677,479千円)に対する比率は96.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=148.60円、1ユーロ=157.16円、1英ポンド=182.02円、1スイスフラン=164.13円、1オーストラリアドル=95.42円、1香港ドル=18.98円です。

シュローダー先進国好利回りC Bファンド2022-12 (適格機関投資家専用)

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年10月10日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	38,962,817,796	
コール・ローン等	91,125,861	
公社債(評価額)	16,377,421,672	
未収入金	20,647,742,767	
未収利息	37,762,382	
前払費用	1,046,114	
差入委託証拠金	1,807,719,000	
(B) 負債	24,015,168,702	
未払金	22,180,058,839	
未払信託報酬	26,468,738	
差入委託証拠金代用有価証券	1,807,719,000	
その他未払費用	922,125	
(C) 純資産総額(A-B)	14,947,649,094	
元本	14,076,224,743	
次期繰越損益金	871,424,351	
(D) 受益権総口数	14,076,224,743口	
1万口当たり基準価額(C/D)	10,619円	

[元本増減]	
設定元本額	7,682,750,000円
期中追加設定元本額	7,841,775,955円
期中一部解約元本額	1,448,301,212円

○損益の状況 (2022年12月12日～2023年10月10日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	141,813,755	
受取配当金	179,972	
受取利息	142,612,103	
その他収益金	138,434	
支払利息	△ 1,116,754	
(B) 有価証券売買損益	849,017,553	
売買益	2,636,172,027	
売買損	△1,787,154,474	
(C) 信託報酬等	△ 68,906,994	
(D) 当期損益金(A+B+C)	921,924,314	
(E) 追加信託差損益金	△ 50,499,963	
(配当等相当額)	(473,998)	
(売買損益相当額)	(△ 50,973,961)	
(F) 計(D+E)	871,424,351	
(G) 収益分配金	0	
次期繰越損益金(F+G)	871,424,351	
追加信託差損益金	△ 50,499,963	
(配当等相当額)	(473,998)	
(売買損益相当額)	(△ 50,973,961)	
分配準備積立金	921,924,314	

- (注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(131,953,164円)、費用控除後の有価証券等損益額(789,971,150円)、および信託約款に規定する収益調整金(473,998円)より分配対象収益は922,398,312円(10,000口当たり655円)ですが、当期に分配した金額はありません。

(注) 当ファンドの運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネージメント(スイス)AGに有価証券等の運用の指図に関する権限を委託しております。その費用として、委託者報酬のうち、販売会社へ支払う手数料を除いた額より、運用権限委託契約に定められた報酬額を支払っております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

ニッセイマネーストック マザーファンド

運用報告書

第 22 期

(計算期間：2023年4月18日～2023年10月16日)

運用方針

- ① 円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。
- ② 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

主要運用 対象

円建ての短期公社債および短期金融商品

運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。
・外貨建資産への投資は行いません。



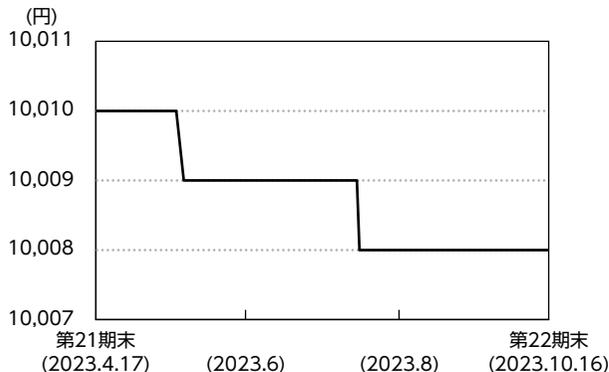
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2023年4月18日～2023年10月16日

基準価額等の推移



■ 基準価額の主な変動要因

<下落要因>

- ・前期末以降、無担保コールレート翌日物のマイナス金利等が影響したこと

(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

ポートフォリオ

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざして運用を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

今後の運用方針

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

今後も引き続き、安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資していく方針です。

お知らせ

■ 約款変更

デリバティブ取引の利用目的を明確化するため、関連条項に所要の変更を行いました。

(2023年7月26日)

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中	債券 組入比率	純資産 総額
		騰落率		
	円	%	%	百万円
18期(2021年10月15日)	10,014	0.0	70.2	50
19期(2022年4月15日)	10,013	△0.0	70.2	50
20期(2022年10月17日)	10,013	0.0	80.2	50
21期(2023年4月17日)	10,010	△0.0	92.1	50
22期(2023年10月16日)	10,008	△0.0	94.1	50

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率
	円	%	%
(期首)2023年4月17日	10,010	—	92.1
4月末	10,010	0.0	92.1
5月末	10,009	△0.0	70.1
6月末	10,009	△0.0	82.1
7月末	10,009	△0.0	72.1
8月末	10,008	△0.0	94.1
9月末	10,008	△0.0	94.1
(期末)2023年10月16日	10,008	△0.0	94.1

(注) 騰落率は期首比です。

1万口当たりの費用明細

2023年4月18日～2023年10月16日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
その他費用	0円	0.002%	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(その他)	(0)	(0.002)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	0	0.002	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,009円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2023年4月18日～2023年10月16日

公社債

		買付額	売付額
国内	地方債証券	千円 22,048	千円 － (21,000)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2023年4月18日～2023年10月16日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
令和元年度第1回 長崎県公募公債	11,000	－	－
平成25年度第11回 埼玉県公募公債	6,031		
第727回 東京都公募公債	5,016		

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2023年10月16日現在

国内（邦貨建）公社債

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	14,000 (14,000)	14,001 (14,001)	28.0 (28.0)	—	—	—	28.0 (28.0)
地方債証券	33,000 (33,000)	33,055 (33,055)	66.1 (66.1)	—	—	—	66.1 (66.1)
合計	47,000 (47,000)	47,056 (47,056)	94.1 (94.1)	—	—	—	94.1 (94.1)

(注1) 評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。ただし、残存期間1年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。

(注2) ()内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

(国内公社債の内訳)

債券種別	銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額
		%		千円	千円
国債証券	第1121回 国庫短期証券	—	2023/11/20	14,000	14,001
	小計	—	—	—	14,001
地方債証券	第727回 東京都公募公債	0.7200	2023/12/20	5,000	5,006
	平成25年度第11回 埼玉県公募公債	0.6550	2024/ 3 /26	6,000	6,017
	第132回 共同発行市場公募地方債	0.6600	2024/ 3 /25	11,000	11,030
	令和元年度第1回 長崎県公募公債	0.0100	2024/ 6 /26	11,000	11,000
	小計	—	—	—	33,055
	合計	—	—	—	47,056

投資信託財産の構成

2023年10月16日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	47,056	94.1
コール・ローン等、その他	2,975	5.9
投資信託財産総額	50,032	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

ニッセイマネースtockマザーファンド

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年10月16日現在)

項目	当期末
(A)資産	50,032,428円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	2,957,905
公 社 債 (評 価 額)	47,056,655
未 収 利 息	17,751
前 払 費 用	117
(B)負債	104
そ の 他 未 払 費 用	104
(C)純 資 産 総 額 (A - B)	50,032,324
元 本	49,992,760
次 期 繰 越 損 益 金	39,564
(D)受 益 権 総 口 数	49,992,760口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C / D)	10,008円

(注1) 期首元本額 49,992,760円
 期中追加設定元本額 -円
 期中一部解約元本額 -円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイマネースtockファンド (適格機関投資家限定) 49,942,807円
 ニッセイ世界リートオープン (毎月決算型) 9,995円
 ニッセイ世界リートオープン (年2回決算型) 9,995円
 ニッセイ気候変動関連グローバル株式ファンド (予想分配金提示型) 9,987円
 ニッセイ気候変動関連グローバル株式ファンド (資産成長型) 9,987円
 ニッセイ/シュロージャー好利回りCBファンド2022-12 (為替ヘッジあり・限定追加型) 9,989円

損益の状況

当期 (2023年4月18日~2023年10月16日)

項目	当期
(A)配 当 等 収 益	78,065円
受 取 利 息	80,136
支 払 利 息	△ 2,071
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△86,976
売 買 損	△86,976
(C)信 託 報 酬 等	△ 1,073
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 9,984
(E)前 期 繰 越 損 益 金	49,548
(F)合 計 (D + E)	39,564
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	39,564

(注) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。